

第30回 ボランティア研修交流会に参加して

2月18日(土)、伊万里市民図書館ホールで研修交流会を行いました。

主催者あいさつの後、来賓 伊万里市長(代理市民部長)、市議会議長、社会福祉協議会会長よりあいさつがあり、木ノ下勝矢氏(レスキューサポート九州 代表)による講演が行われました。

当日参加された方より感想をいただきました。

災害について、今まで、何度か講演を聞いたり、研修に参加してきました。以前は、自分たちが災害に遭ったらという事で、心構えや備えなど、自主防災についての話を聞くことが多くありました。

今回「助かるだけの防災から生き続ける防災へ」という事で話されました。せっかく生存されてもストレスや併発病等で、災害時に亡くなられた方の2倍から3倍もの方が関連死されているという現実を聞きました。



私は、初耳でした。避難所生活での精神的苦痛や感染症などの病気で亡くなられている方が多くいらっしゃる…実体験がなければ、なかなか心が及ばない実状を知りました。さらには、大勢で使用するトイレの状況は、想像するのも辛いです。

また、大きな災害が起きた時の公的機関(消防署・役所・自衛隊等)の対応や動きも阪神淡路大震災の時と比べて変化しています。それに対応してボランティア活動も、その時々で変わってきているのだと感じました。

これからも、このような講演会をいつもと同じだと思わず参加し、地域での研修などで災害時のシュミレーションをしたり、皆で話し合い、それを継続することが必要だと思いました。

『防災は ネットワークづくりである』いつ起こるかわからない事を常に考えるのは難しいが、日頃からの人との繋がりが大事だと思います。

自分たちのボランティア活動の中でも、何か出来る事、防災へ繋がられる事も見い出せば良いなと思います。

私個人として、今すぐにでもできる事は、避難所の確認です。家の近所だけではなく職場やよく立ち寄る所などを含めて何ヶ所か調べようと思っています。

(松尾 真弓さん)

ボランティアグループ紹介

ボラ連新入りだった私達も早いもので、活動6年目になりました。

月に1度、3~4人で、ロールケーキやおやき等、手作りのお菓子とコーヒーや紅茶等の飲み物を用意して、市内の高齢者施設で喫茶店を開いています。

喫茶店へ出かけた気分ですリフレッシュしていただく事、入居者さん同士がコミュニケーションをとり、仲良くなっていく事を目指しています。

お気に入りの席でゆったりとしたティータイムを楽しまれ、私たちとの会話を楽しみに来られる方もおられます。若かりし日の事や趣味のご自慢な

おひさま

どに耳を傾け、私たちも一緒に穏やかな時間を過ごさせていただいています。

最後は「美味しかったよ」「来月はいつ来るの?」と声をかけられ、少しはお役に立てたかなと思いつつ帰ります。

(グループ代表 堤)



健康マージャン教室 第13回 新春麻雀大会開催

1月30日に「平成29年新春麻雀大会」を開催いたしました。

今年は天気にも恵まれ32人の参加があり教室開設以来の大盛況でした。今回も女性が多く20名、男性9名、他補助員3名で会場にある麻雀卓8卓を全部使いました。

会場は熱気にあふれ「ポン」「チー」「ロン」と元気に麻雀用語が飛び交っていました。

参加者の平均年齢は75歳を越えていると思いますが、まだまだ元気そのものでした。成績は次の通りです。

- 優勝 福田 忠彦さん (大坪町)
- 2位 出口 貫二さん (黒川町)
- 3位 東 克章さん (黒川町)
- 4位 百武 由美子さん (伊万里町)
- 5位 塚本 鈴子さん (松島町) でした。



学校紹介

波多津小学校

エコ委員会委員長 6年 早稲田 凜さん

私たちの学校では、エコ委員会が中心となり、いろいろな活動に取り組んでいます。

まず、1年間を通してペットボトルキャップ・プルタブの回収を行っています。毎月たくさん持ってきてくれるおかげで、今年もたくさん集めることができました。他に募金やポスターの張り替え、老人福祉施設「おたっしゃクラブ」訪問もしました。

これらの活動を通して、多くの人とつながりを持たただけでなく、ボランティア活動の大切さや楽しさも知ることができました。

これからも自分たちが人の役に立てることを進んで見つけ、ボランティア活動の大切さや楽しさを多くの人に知ってほしいです。



ペットボトルキャップ回収しました。



『思い込みと勘違い』

今回は、「『思い込みと勘違い』の違いについて、つづやいて欲しい」とリクエストをいただきましたので、久々に書き下ろしています。

辞書によれば、『思い込み』は、「深く信じ込むこと。また、固く心に決めること。」と書かれています。一方、『勘違い』は、「間違っって思い込むこと。」と書かれています。

私も先日経験しました。それは“遅刻”です。

いつも15時00分に始まる会議が、その日は14時30分からでした。もちろん、案内の文書をきちんと見て確かめるべきでしたが、確認もせず思い込んで手帳に「15時～」と書き込んで、それを信じ切っていたのです。

つまり、この経験から感じたことは、正しいことを思い込んでいる場合はよいのですが、間違っったことを思い込んでいる場合は、結果が出るまで『勘違い』にはならないということです。

では、どうやって『思い込み』や『勘違い』は生じるのでしょうか。

記憶は、時間が経つにつれ薄れていきます。しかし、成功や失敗など感情や刺激を伴った経験は、記憶が定着しやすくなります。そして、そうした経験に基づく結果は、疑うことなく、信じきってしまい思い込みやすくなります。さらには、周囲に押し付けていることもあります。そして、周囲の意見がだんだん受け入れられなくなります。また、『勘違い』は、経験から

得た記憶があいまいだったり、間違っって覚えたりする事から生まれます。

なぜなら、ほとんどの人が

自分は正しいと思って、自分のことを一番信じ、自分に都合のいいように記憶するからです。

よって、たまには周囲の意見に耳を傾け、受け入れてみて、自分の『思い込み』が『勘違い』ではないか、確認してみてもはどうでしょう。

社会福祉協議会の

つづやき

地域福祉活動コーディネーター 西田 晃一郎

♡ありがとうございました♡

使用済み・未使用切手、書き損じはがき、プルタブ、飲料水ボトルキャップ、コーヒーのクーポン券、使い古したタオル ほか （2月1日～2月末日 受付分）



池田美代子（脇田町）
井手 和子（黒川町）
井手久美子（南波多町）
岩永 栄子（大坪町）
岩政 典昭（立花町）
大星三紀子（大坪町）
小川 祥子（松島町）
小野寺律子（大坪町）
唐津三枝子（立花町）
川久保公子（山代町）
川本 一公（松浦町）
木須恵美子（栄町）
小嶋伸一郎（東山代町）
齋藤 和子（大坪町）
境 洋子（大坪町）
柴原 信喜（大坪町）
下川 副子（大川町）

瀬戸口紀美（立花町）
副島 隆則（大川内町）
多久島春代（立花町）
立川ヨシ子（木須町）
地原 侑弥（大坪町）
辻丸 直子（福岡市）
出口 貫二（黒川町）
橋口 京子（山代町）
畠江 弘子（松島町）
原 晴美（脇田町）
廣瀬 鶴子（東新町）
古川 節子（大坪町）
宝蔵寺タネ子（大川内町）
前田 和明（東山代町）
前田 啓一（立花町）
溝上トシ子（大坪町）
宮地 昭子（山代町）

村岡 （下土井町）
森田 （東山代町）
森永 忍（東山代町）
諸石テルコ（瀬戸町）
安並 弥生（脇田町）
吉富フサエ（二里町）
匿名 6名
いまりの里（大坪町）
黒木建設[株]（松島町）
敬愛園（黒川町）
[有]小松建設（松浦町）
城女性部（山代町）
立町とびうめ会（立町）
椿作業所（黒川町）
パクス[株]（大坪町）
南波多小学校

伊万里カトリック幼稚園（二里町）
伊万里市母子寡婦福祉連合会
伊万里商工会議所女性会（新天町）
伊万里特別支援学校寄宿舎生（大坪町）
おもちゃ図書館
[株]九州公善社（松島町）
小黒川グランドゴルフ愛好会（黒川町）
佐賀銀行橋花寮（立花町）
新天町レディスクラブ（新天町）
スナックさくら（伊万里町）
立花台二丁目区（立花町）
デイサービスセンターユートピア（大川町）
はたちの会（大川内町）
伊万里市役所市民部市民課
二里公民館
南波多公民館
（敬称略 順不同）